

成功の秘訣 ユーザー様の実体験でお伝えします。

## 設計BOMと製造BOM (SAP) の統合管理で BOMの見える化とタイムラグを解消！ 拠点間でのスムーズな業務展開が可能に。

家庭用、産業用を問わず様々な精密小型モーターを供給されている日本電産サーボ株式会社様。  
ワールドワイドな工場展開に伴い、BOM 機能強化のために「Hi-PerBT Advanced BOM」を導入された事例を紹介します。



日本電産サーボ株式会社  
本店所在地/〒376-0011 群馬県桐生市相生町3-93 創立/1949年4月  
代表者/代表取締役社長 毛利 雅之 資本金/25億4,775万円 従業員  
数/単独:383名 連結:2,629名(2020年3月末日時点) 国内事業所/  
桐生事業所、穂高日本電産サーボ株式会社 海外事業所/Nidec Servo  
(CHANGZHOU) Corporation(中国)、Nidec Servo Vietnam Corporation(ベ  
トナム) 事業内容/精密小型モーターの開発・製造・販売

創業70周年を迎えた精密小型モーターのパイオニア

### 日本電産サーボ株式会社 様

1949年に株式会社 桐生英工舎としてスタートされて70年。世界最大級の精密小型モーターメーカーの日本電産グループの一員として、全世界に様々なモーターを提供しています。PC等に搭載されている冷却ファンから、複合機の紙送りなど精度とパワーが必要なステッピングモーターまで、お客様のニーズを元に日本電産サーボ様ならではの技術ノウハウを活かして生まれたものばかりです。これからも、独自技術に磨きをかけながら、高度なサービス・技術・品質をお客様に供給していきます。

#### システム導入の目的

### 基幹システムのSAPと連携した新しいBOM環境の構築。

用途や使用箇所に応じて様々な精密小型モーター製品を提供されている日本電産サーボ様。求められる条件下で最適な製品を提供するため、設計及び製造部門に力を入れています。

日本電産サーボ様の持つ高い技術力を活かすためには、BOM管理は非常に重要で、早くからPDMシステムでのCADデータと設計BOM管理、設計BOM情報を閲覧するBOM検索・閲覧システム、図面管理システムを利用されていました。

その後、全社の基幹システムとしてSAPを導入されました。製造においてはSAP上で製造BOMの管理を行い、原価情報や工場情報、発注管理なども行うようになり、製造管理が効率化されています。

ところが、SAPの製造BOMと既存の設計BOMは独立した存在で、双方を直接比較することはできませんでした。既存の設計BOMだけでなくSAPの製造BOMを取り込み、比較できる新しいBOM検索・閲覧システムを望まれていました。

そこで、日立ソリューションズ西日本では、既存のBOM検索・閲覧システムを「Hi-PerBT Advanced BOM」にリプレイスし、SAPの製造BOMと

連携させることをご提案しました。



左から：日本電産サーボ株式会社 開発管理部 満田 博之 様 / 開発管理部 仲田 崇志 様  
/ 経営企画部 山田 高弘 様 / 開発管理部 道井 隆 様

## SAPとの豊富な連携ノウハウと閲覧無制限ライセンスが決め手に。

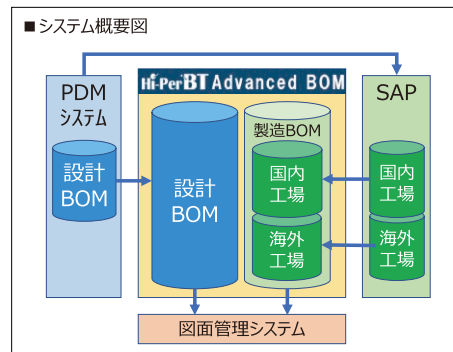
SAPと連携するためには、SAPの特徴を理解しておかなければなりません。日立ソリューションズ西日本では、「Hi-PerBT Advanced BOM」においてSAPと連携させる事例を数多く持っており、高い親和性を実現してきました。さらにBOMシステム自体の構築にも多くのノウハウを有し、既存図面管理システム連携や拠点間の製造BOM比較など日本電産サーボ様が望まれている機能の追加に対しても、柔軟に対応することができました。

もう一つのポイントがBOM閲覧に必要なライセンスの問題です。既存のPDMシステムは閲覧するための高価なライセンスが必要であったため、設計部門などの限られた人しかアクセスできませんでした。一方製造BOMを管理するSAPも同様に高価なライセンスが必要で、BOMを閲覧したいユーザー分すべてのライセンスを用意することはできませんでした。

ところが、両者から設計・製造のBOMデータを取り込み管理する「Hi-PerBT Advanced BOM」は閲覧に関するライセンスは無制限です。

これによりライセンスによる制約から解放され、国内だけでなく海外のユーザーも含めて、BOM閲覧が可能となり、PDMシステムやSAPに対して余分なライセンスを購入する必要はなく、コスト面でも大きく貢献出来ることが判りました。

このような経緯から、BOMのシステム構築において豊富な経験を持つ日立ソリューションズ西日本の「Hi-PerBT Advanced BOM」の導入を決めました。



## システム導入の効果

### 設計・製造BOM連携により、時間短縮、工数低減、利便性向上を実現！

既存システムでは設計BOMと製造BOMを別々に開いて見比べるため、BOM比較に時間と工数が掛かっていましたが、新システムではこれらを1画面上で検索し比較できるようになり、時間短縮と工数低減を実現しました。また、設計者が製品に対して拠点間の構成比較や原価比較を行うなど、新たな利用の仕方が可能となり利便性も大幅に向上しました。

また、PDMシステムから生成される設計BOMは、既存システムの性能上、更新のタイミングが1日2回が限界でした。そのために最新の設計BOMを見たいときには、データが更新されるまで待たなければならず、大きなタイムロスになっていました。この際、別の作業を先に進めてしまうと、正しい情報を得ずに作業することになり、問題が生じる原因にもなりかねない状況

でした。「Hi-PerBT Advanced BOM」ではBOMデータの取込みも高速になり、長時間のデータ更新を待つ必要はなく、効率化が図られています。

他にも、ユーザーごとに部品表の表示可能な項目が細かく設定できることから、今まではどのユーザーが見ても良い20項目程度の最低限のデータだけを取り込んでいたのに対して、現在ではその5倍の100項目までデータを扱えるようになりました。これにより、工場ごとの部品調達原価の比較や、部品の不足をいち早く見つけ出すなど、より戦略的にBOMシステムを活用しています。

今後は、図面管理の分野でも「Hi-PerBTシリーズ」を導入し、より効率のよい設計・製造環境を構築していきたいと考えています。

**製造業の基盤となる部品表情報を厳密、または自由にデータ化。業務の効率向上を強力サポート！**

**Hi-PerBT** Advanced BOM

企業の頭脳ともいえる設計業務の効率向上を目的とする部品表管理システム。  
製品企画からパッケージ化まで全て自社開発のため、カスタマイズ、導入支援、サポートまで、  
一貫したソリューションを提供します。

※本リーフレット中の会社名、商品名は各社の商標及び登録商標です。※本文中および図中では、TMマーク®マークは表記しておりません。※製品の仕様は改良の為予告なく変更する場合があります。  
※本製品を輸出される場合には、外国為替及び外国貿易法の規制並びに米国輸出管理規則など外国の輸出関連法規をご確認の上、必要な手続きをお取りください。なお、ご不明な場合は、弊社担当営業にお問い合わせください。  
※記載内容は2020年8月現在のものです。

商品・サービスに関するお問い合わせ

## 営業統括本部

【WEBによる受付】

<https://www.hitachi-solutions-west.co.jp/inquiry/>

※ご相談ご依頼いただいた内容は、回答等のため日立グループ各社に情報を提供し対応させていただくことがあります。  
取り扱いには充分注意し、お客様の許可なく他の目的に使用する事はありません。



株式会社 日立ソリューションズ西日本  
<https://www.hitachi-solutions-west.co.jp/>

L04403-00 2020.08